エコノ夜話　主婦でも可能に！確定拠出年金制度改正決定

2002年から現在に至る確定拠出年金の参考図書

2016年5月24日に確定拠出年金法の改正法案が成立しました。これによって2017年1月1日から今まで確定拠出年金を実行したくてもできなかった、公務員や主婦でもようやく実行できるようになります。保険アイマークでは確定拠出年金の制度が発足した2002（平成14）年当時から、制度の研究を開始し、自営業の方や企業年金の制度のない会社員の方に確定拠出年金をご案内してきましたが、来年からは公務員さんや主婦の皆さんにもご案内できるわけです。

確定拠出年金のメリット1　所得控除

確定拠出年金の最大のメリットとは、掛金が全額、所得控除されるということです。サラリーマンで個人型に入れる人は、月額の上限である23,000円を拠出すれば年間27万6,000円が所得控除の対象になるのです。生命保険の個人年金だと、所得控除される金額は所得税で最大40,000円、住民税で最大28,000円ですから、あわせても6万8,000円です。いかに確定拠出年金の27万6,000円という所得控除額が大きいかお分かりいただけると思います。

でも、主婦の方はそもそも、年末調整も確定申告もしていないし、税金も払っていないので、この所得控除に魅力を感じないはずです。そんな主婦の方にも保険アイマークは自信をもってこの確定拠出年金に加入することをお勧めします。

確定拠出年金のメリット2 運用期間中非課税の複利運用

主婦の方にも確定拠出年金を勧める理由、それは60歳まで、運用益に一切税金がかからないということです。同じような非課税制度としてはNISAがありますが、保険アイマークがご案内してきた年率11％以上の運用が今後も継続できたとすると、NISAの非課税枠からは、あっという間にはみ出してしまいます。それに対して確定拠出年金は運用収益がいくら発生しても税金の心配は無用なのです。保険アイマークが従来からお勧めしている変額保険も運用期間中非課税のメリットを受けられるからこそ、お勧めしてきたわけです。

確定拠出年金のデメリット

バラ色に見える確定拠出年金ですが、唯一のデメリットがあります。それは、60歳まで基本的にお金を引き出せないという制約です。しかし、保険アイマークが推奨する長期運用、日々の株価の上下は意識せず、世界経済が拡大する要素に注目して長期投資を継続するという原則にあてはめれば、唯一のデメリットも原則を貫き通す大きな原動力に変わっていくように思えるのです。そうは言っても、急なアクシデントや思わぬ支出に対応できるしくみを併用することも考える必要がありますよね。そんな場合の選択肢も保険アイマークならではのご案内ができるはずです。

確定拠出年金のメリット　受け取り時点の非課税制度

長期投資を継続して、老後を迎えるとき確定拠出年金は、本来の目的を果たすためにようやく使われるのです。

「年金の受け取り」です。その受け取りのタイミングでも確定拠出年金には税制優遇があります。それを「退職所得控除」と呼びます。紙面の都合で、遠い将来の「退職所得控除」のご説明は割愛させていただきますが、メリットだらけの確定拠出年金と長期運用で年率平均11％以上の実績を残している保険アイマークの運用哲学が結びつくと、地元の経済の活性化につながるのではないかと想像しています。いくら確定拠出年金という制度が整っても、投資対象をどう選び？どうメインテナンスするか？が大切です。保険アイマークはそこに自信があるわけです。2017年1月1日に始められるように準備しておくのに、早すぎるということはありません。タイミングなど気にせず、すぐにでもお気軽に保険アイマークにお問い合わせください。

2017年1月1日　公務員と主婦のみなさんには「じぶん年金の記念日」となることでしょう。

ひとごとじゃない!?　～がんの最新情報～

7月15日、国立がん研究センターは、2016年に新たにがんと診断される患者さんの数の予測データを発表しました。この予測は最近発表された4年前の患者さんのデータを基に予測したものです。

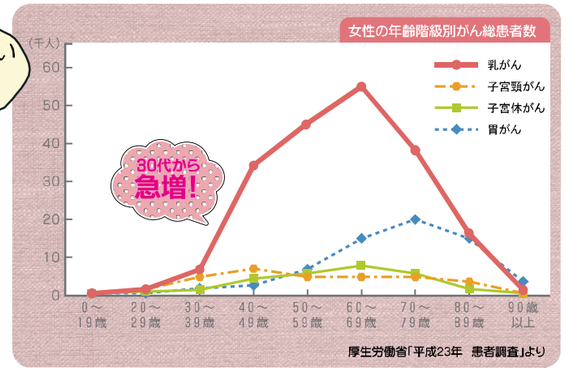
高齢化の進行もあり、はじめて新たにがんと診断される患者さんの総数が100万人を超えたそうです。

30代から急増する女性のがん

新規のがん患者数の予測（2016年）

順位	男　性	女　性
1	前立腺（9万2600人）	乳　房（9万人）
2	胃　（9万1300人）	大　腸（6万2500人）
3	肺　（9万600人）	肺　（4万3200人）
4	大　腸（8万4700人）	胃　（4万2600人）
5	肝　臓（2万9000人）	子　宮（3万200人）

男性と女性ではかかりやすいガンが違うんですネ。



知っておきたい！地震保険の最新情報！【2017年1月からの値上げと変更内容の基礎知識】

2016年4月に発生した熊本地震でも注目された「地震保険」ですが、2017年1月から値上げも含めて変更が予定されています。変更される内容は以下の3点です。（2014年7月に全国平均+15.5%値上げされたばかりです。）

①地震保険料の値上げ（非耐火構造の場合）

2017年1月からの値上げは全国平均で+5.1％、その後2019年1月、2021年1月と段階を追って値上げされ2021年の値上げ終了時に+19%になる予定です。静岡県では2017年1月に+11.4%、2021年の値上げ終了時には+39%になる予定です。

②損害区分を3区分から4区分へ変更

今まで全損100%支払、半損50%支払、一部損5%支払の3区分でした。2017年より全損100%支払、大半損60%支払、小半損30%支払、一部損5%支払の4区分になります。この区分分けで当初値上がり平均+24%を+19%に抑えられたようです。

③保険料の基準となる等地区分を変更

等地区分の変更により、愛知県や三重県など11都道府県では　最大−11.3%の値下げになる地域も発生します。

改定前（3区分）	
全　損	100%
半　損	50%
一部損	5%

⇒

改定前（4区分）	
全　損	100%
大半損	60%
小半損	30%
一部損	5%

未来予想図作成サービス　開始

保険アイマークでは、金融商品を駆使して、お客様とそのご家族が直面するかもしれない経済的なピンチを回避する手段をご案内しています。例えば、ご主人が万が一の際に保険金が支払われるという仕組みもその一つです。

そして、ピンチを乗り越えたとしたら、そのあとはご自身とご家族には「夢の実現」というタイミングが訪れるはずです。

そんなことを突き詰めて考えていたら、私たちスタッフはお客様の夢を本気で共有しているのか？お客様の価値観と真剣に向かい合っているのか？という問いかけに発展しました。その答えを探すために、保険アイマークでは時間をかけてさまざまな検討を続けてきました。そして、たどりついた結論は！

『お客様の夢をもっと聞かせていただこう。』

というシンプルな答えでした。

お客様の夢を私たちがお聞きして、共有させていただくツールとして、『未来予想図』と名付けたシミュレーションサービスを導入し、長時間の研修を経てようやく、保険ナビゲーター全員がお客様にご案内できる環境が整いました。

では、実際にお客様と対応するスタッフから、未来予想図作成サービスについて語ってもらいましょう。保崎さんよろしくお願いします。

お店ではこれまで、ご来店いただいたお客様に保険のご案内をしていました。

「万が一の保障」「もしも病気になったら」「がんの治療にいくらかかるか」そういったお客様の疑問にお答えすることと同じく、「一家全員無事にトラブルなく老後を迎えたとしたら？」というご質問は、当たり前のようでいて十分にお話を伺える機会は多くなかったのではないでしょうか。

万が一に備えた保険のお話の前に、万が一が起きなかったとしたら…皆さんどんな未来をイメージできますか？

このサービスではいろんなことが応用できます。一部を切り取ってお話をすれば…例えば子育ての進路やそれに応じた必要額と準備期間・住宅ローンの借り方や繰上げ返済のプラン設計・老後のために必要な資金。一般的にお金が関わることについてのモヤモヤも解消できますし、個人的な夢や希望をお聞かせいただければそれも含めた、人生全体のプランニングをお手伝いすることができます。

実施したお客様からは「来年の心配ばっかりしていたのが安心できた。その分老後が心配になった。」「パートをやめようか迷っていたけど、そんなこと言ってられないことがわかった。」「三人目が生まれても家計は大丈夫そう。」などなど。ご家庭それぞれの悩みや迷いが解決できたとのご感想をいただいております。

目の前の問題をスッキリ解決していただいた後には、目に見えない問題に気づいていただき、それにも夢と希望を持って挑めるよう解決策を準備しております。お気軽にお問い合わせ下さい。